

VII. 調査票（単純集計結果）

男女共同参画についてのアンケート

ご協力をお願い

奈良県では、平成9年2月に「なら女性プラン21」奈良県女性行動計画（第二期）を策定し、男女共同参画社会（男女がお互いの人権を尊重しつつ、かつ対等に責任を担い、個性と能力を発揮できる社会）の実現をめざし、さまざまな取り組みを推進しているところです。

このたび、日常生活の中での皆さまのお考えやご意見をお伺いすることにより、今後の女性施策の新たな立案と充実に向けての基礎資料とさせていただきたいため、「男女共同参画についてのアンケート」を実施することになりました。

この調査は、県内にお住まいの満20歳以上の方々の中から、無作為に選ばせていただいた3,000の方を対象に実施するものです。

調査票の処理は慎重に行い、回答の秘密の厳守には万全の体制を整えております。さらに、お答えいただきましたことは、すべて統計数字に直して集計しますので、後々個人の名前が出たりしてご迷惑をおかけすることはありません。もちろん調査以外の目的に使用することはありませんので、どうぞあなたの率直なお考えをお聞かせください。

お忙しい中お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、なにとぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成12年9月

奈良県生活環境部女性政策課

ご記入にあたってのお願い

- ・ このアンケート調査は、封筒のあて名の方がご自身で記入してください。
- ・ 回答は問1から順に、問ごとに用意してある選択肢の中から、あなたのお考えにあてはまる番号に○印をつけてください。また、「その他」の回答に○をつけられた場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- ・ ご記入された調査票は、同封の封筒に入れて、9月30日までにご返送ください。この調査についてのお問い合わせなどがありましたら、下記へご連絡ください。

奈良県生活環境部女性政策課

(電話 0742-22-1101 内線 3356)

問1 あなたは、今の日本の社会では、男女が平等になっていると思いますか。アからクのそれぞれについて、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。
(○はそれぞれ1つずつ)

| | 優遇されている 男性の方が非常に | 優遇されている 男性の方が どちらかといえば | 平等である | 優遇されている 女性の方が どちらかといえば | 優遇されている 女性の方が非常に | わからない | 無回答 |
|-----------------------|---------------------|------------------------------|-------|------------------------------|---------------------|-------|-------|
| (N=1563) | | | | | | | |
| ア 社会全体としては | 14.3% | 63.5% | 9.9% | 4.5% | 0.8% | 4.5% | 2.4% |
| イ 家庭生活のなかでは | 11.9% | 45.4% | 27.3% | 7.8% | 1.5% | 2.9% | 3.2% |
| ウ 学校のなかでは ※児童・生徒の立場から | 0.8% | 7.9% | 55.7% | 4.5% | 0.4% | 17.5% | 13.2% |
| エ 職場のなかでは | 17.1% | 47.9% | 13.1% | 7.2% | 1.0% | 8.5% | 5.1% |
| オ 地域活動の場では | 8.3% | 36.9% | 29.6% | 10.4% | 0.8% | 9.7% | 4.4% |
| カ 政治の場では | 31.7% | 37.5% | 15.8% | 1.8% | 0.2% | 9.1% | 3.9% |
| キ 法律や制度の上では | 11.6% | 30.1% | 36.6% | 4.4% | 0.7% | 12.0% | 4.5% |
| ク 社会通念、風潮、しきたりなどでは | 31.8% | 51.2% | 6.4% | 2.1% | 0.6% | 4.9% | 3.0% |

問2 あなたは、今の日本の社会で男女平等になっていないとすれば、それはどのような理由からだと思いますか。あなたの気持ちに近いものをお答えください。
(問1ですべて「平等である」と回答された方は、お答えいただくなくても結構です)
(○はいくつでも)

| | | |
|--|-------|--|
| (N=1545) | | |
| 1. 社会通念や慣習やしきたりなどの中には、男性優位にはたらいっているものが多いから | 67.5% | |
| 2. 日本の社会は仕事優先、企業中心の考え方が強く、それを支えているのは男性という意識が強いから | 64.9% | |
| 3. 男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから | 31.3% | |
| 4. 男女平等を進めていこうという女性の意識がうすいから | 15.5% | |
| 5. 男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすいから | 23.6% | |
| 6. 女性の能力を発揮できる環境や機会が十分でないから | 38.2% | |
| 7. 能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが十分でないから | 33.0% | |
| 8. 専業主婦に有利な税制や社会保障制度などが男女の役割分担を助長しているから | 14.4% | |
| 9. 育児、介護などを男女がともにこなすための体制やサービスが充実していないから | 44.3% | |
| 10. 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると考える人がいるから | 29.3% | |
| 11. その他(具体的に) | 4.4% | |
| 12. わからない | 1.3% | |
| 無回答 | 4.9% | |

問3 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

(N=1563)

| | | | |
|-----------|-------|--------------|-------|
| 1. そう思う | 22.8% | 3. どちらともいえない | 38.3% |
| 2. そう思わない | 35.8% | 4. わからない | 1.5% |
| | | 無回答 | 1.6% |

問4 あなたのご家庭では、次にあげたような日常的なことについて、夫婦でどのように役割分担されていますか。アからタのそれぞれについてお答えください。配偶者のいない方も、次のようなことがどなたの役割だとお考えになるかをお答えください。

(○はそれぞれ1つずつ)

| (N=1563) | 夫婦共同 | 主として夫 | 主として妻 | その他の人 | 無回答 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ア 生活費の確保 | 24.0% | 67.1% | 6.0% | 0.4% | 2.5% |
| イ 洗濯 | 9.9% | 1.1% | 85.2% | 1.5% | 2.3% |
| ウ 食事の支度 | 9.0% | 0.6% | 86.1% | 1.6% | 2.8% |
| エ 食事の後かたづけ | 15.5% | 2.2% | 78.0% | 2.0% | 2.2% |
| オ 家の掃除 | 23.5% | 2.2% | 69.7% | 1.6% | 2.9% |
| カ 日常のゴミ出し | 23.4% | 12.8% | 58.0% | 3.2% | 2.6% |
| キ 入浴の準備や風呂場の掃除 | 21.9% | 7.3% | 63.2% | 5.0% | 2.6% |
| ク 日常の買い物 | 25.2% | 1.8% | 69.2% | 1.3% | 2.5% |
| ケ 日常の家計管理 | 13.2% | 5.4% | 77.2% | 1.1% | 3.1% |
| コ 高額の買い物や資産の管理 | 51.8% | 26.7% | 17.2% | 1.0% | 3.3% |
| サ 地域活動への参加 | 43.1% | 18.4% | 32.6% | 1.8% | 4.1% |
| シ 子どもの世話 | 35.6% | 0.3% | 55.7% | 1.3% | 7.2% |
| ス 子どものしつけ・教育 | 56.8% | 1.0% | 34.0% | 1.2% | 7.0% |
| セ お年寄り、病人の世話・介護 | 39.8% | 1.0% | 44.5% | 4.0% | 10.7% |
| ソ 親戚とのつきあい | 67.7% | 7.0% | 20.9% | 1.7% | 2.8% |
| タ 近所とのつきあい | 44.3% | 2.7% | 48.6% | 2.0% | 2.4% |

問5 今後、男性が女性とともに、家事、子育てや教育、介護に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。(〇はいくつでも)

(N=1563)

| | |
|---|-------|
| 1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること | 50.7% |
| 2. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること | 41.5% |
| 3. 男性が家事、子育てや介護などについての知識や方法を身につけること | 44.6% |
| 4. 仕事と家庭の両立を支援するための情報提供・相談体制を整備すること | 24.6% |
| 5. 企業において、労働時間の短縮や、育児休業・介護休業の利用しやすい環境をつくること | 61.0% |
| 6. 夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと | 42.5% |
| 7. 家事などを男女で分担するようなしつけや教育をすること | 34.6% |
| 8. 男性が家事や子育てなどに対する抵抗感をなくすこと | 40.1% |
| 9. 男性の生活的自立を促すように女性が協力すること | 24.1% |
| 10. その他(具体的に) | 3.8% |
| 11. わからない | 2.4% |
| 無回答 | 1.7% |

問6 あなたは、奈良県の政策全般に女性の意見や考え方が、どの程度反映されていると思いますか。(〇は1つ)

(N=1563)

| | |
|-----------------|-------|
| 1. 十分反映されている | 0.7% |
| 2. ある程度反映されている | 20.3% |
| 3. あまり反映されていない | 24.8% |
| 4. ほとんど反映されていない | 10.5% |
| 5. わからない | 42.4% |
| 無回答 | 1.2% |

問6-1 【問6で「3. あまり反映されていない」または「4. ほとんど反映されていない」と回答された方のみにおたずねします】

奈良県の政策に、女性の意見が反映されていないのは、主にどのような理由からだと思いますか。(〇は1つ)

(N=552)

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 議会や行政機関、審議会などの政策・方針決定の場に女性が少ないから | 39.9% |
| 2. 女性の意見や考え方に対して、議会や行政機関の側の関心がうすいから | 18.1% |
| 3. 女性の能力開発の機会が十分でないから | 10.1% |
| 4. 男性優位の組織運営だから | 20.3% |
| 5. 女性の側の積極性が十分でないから | 7.8% |
| 6. その他(具体的に) | 2.0% |
| 7. わからない | 1.4% |
| 無回答 | 0.4% |

問7 メディア（テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等）における性の表現について、あなたはどのように思いますか。（〇はいくつでも）

(N=1563)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 女性の身体・姿態を過度に強調するなど、行きすぎた表現が目立つ | 50.2% |
| 2. 社会全体の性に関する道德観・倫理観を損なうような表現をしている | 42.2% |
| 3. 女性に対する犯罪を助長するおそれがある | 31.9% |
| 4. 子どもが性について歪んだ意識を持つおそれがある | 42.7% |
| 5. 女性や男性のイメージについて偏った表現をしている | 15.5% |
| 6. その他（具体的に | 2.9% |
| 7. 特に問題はない | 6.1% |
| 8. わからない | 9.0% |
| 無回答 | 2.2% |

問8 セクシュアル・ハラスメントが問題になっています。あなたはこれまでに、セクシュアル・ハラスメントについて、経験したり見聞きしたことがありますか。（〇はいくつでも）

※セクシュアル・ハラスメント…性的いやがらせ。職場においては、相手が仕事をする上で一定の不利益を与えたり、就業関係を著しく悪化させる行為を指します。

(N=1563)

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある → (問8-1へ) | 8.6% |
| 2. セクシュアル・ハラスメントを受けた人から相談されたことがある | 3.8% |
| 3. 身近にセクシュアル・ハラスメントを受けた人がいると聞いたことがある | 14.1% |
| 4. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている | 80.1% |
| 5. セクシュアル・ハラスメントについて見聞きしたことはない | 2.6% |
| 6. その他（具体的に | 1.7% |
| 無回答 | 6.8% |

問8-1 【問8で「1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と回答された方のみにおたずねします】

セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をされましたか。（〇はいくつでも）

(N=135)

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. セクシュアル・ハラスメントを行った相手に抗議した | 25.2% |
| 2. 家族や身近な人、友人に相談した | 25.2% |
| 3. 職場の苦情処理機関や上司等に訴えた | 10.4% |
| 4. 公的な相談機関（例：労働局雇用均等室、県女性センター）に相談した | 0.0% |
| 5. 裁判所等に訴えた | 0.0% |
| 6. 仕方がないと思い、何もしなかった | 37.0% |
| 7. こわくて何もできなかった | 10.4% |
| 8. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった | 8.9% |
| 9. その他（具体的に | 17.0% |
| 無回答 | 0.7% |

問9 最近、夫や恋人などパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）が問題になっています。あなたはこれまでに、ドメスティック・バイオレンスについて、経験したり見聞きしたことがありますか。（〇はいくつでも）

※ドメスティック・バイオレンス（DV）…女性が夫、恋人等の親密な関係にある男性から、殴る、蹴る、ものを投げつける等の身体的暴力やレイプなどの性的暴力、口汚くののしる、脅かす、何を言っても無視をする等の精神的暴力を受けることを意味します。

(N=1563)

- | | | |
|------------------------------|-----------|-------|
| 1. 暴力を受けたことがある | → (問9-1へ) | 6.3% |
| 2. 暴力を受けた人から相談されたことがある | | 4.6% |
| 3. 身近に暴力を受けた人がいると聞いたことがある | | 12.0% |
| 4. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている | | 78.0% |
| 5. 暴力について見聞きしたことはない | | 4.4% |
| 6. その他（具体的に |) | 0.9% |
| 無回答 | | 7.5% |

問9-1 【問9で「1. 暴力を受けたことがある」と回答された方のみにおたずねします】

夫や恋人などパートナーから暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をされましたか。（〇はいくつでも）

(N=99)

- | | | |
|----------------------------------|-------|------|
| 1. 暴力を行った相手に抗議した | 54.5% | |
| 2. 家族や身近な人、友人に相談した | 30.3% | |
| 3. 公的な相談機関（例：県女性センター、婦人相談所）に相談した | 1.0% | |
| 4. 警察等に訴えた | 3.0% | |
| 5. 仕方がないと思い、何もしなかった | 23.2% | |
| 6. こわくて何もできなかった | 11.1% | |
| 7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった | 19.2% | |
| 8. その他（具体的に |) | 9.1% |
| 無回答 | 2.0% | |

問10 あなたが、女性の人権が侵害されていると感じるのは、どのようなことについてですか。(〇はいくつでも)

(N=1563)

| | |
|--|-------|
| 1. 買売春(援助交際含む) | 29.4% |
| 2. 女性の働く風俗産業 | 23.9% |
| 3. 夫や恋人などパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV) | 36.8% |
| 4. セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ) | 44.8% |
| 5. 女性のヌード写真などを掲載した雑誌等 | 23.8% |
| 6. 女性の体の一部や媚びたポーズ・視線を、内容に関係なく使用した広告など | 24.4% |
| 7. 女性の容ぼうを競うミス・コンテスト | 7.5% |
| 8. 「令夫人」、「〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉 | 7.3% |
| 9. ストーカー(つきまとい行為) | 38.3% |
| 10. 痴漢行為 | 56.9% |
| 11. レイプ(強姦) | 61.2% |
| 12. その他(具体的に) | 1.9% |
| 13. 特に感じるものはない | 3.4% |
| 14. わからない | 5.8% |
| 無回答 | 4.5% |

問11 奈良県においても、出生率の低下により少子化が進んでいます。あなたは、出生率が低下しているのは、主にどのような理由からだと思えますか。(〇は3つまで)

(N=1563)

| | |
|--|-------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 58.8% |
| 2. 仕事と子育てを両立させる社会的仕組み(就労条件、保育所等)が整っていないから | 42.9% |
| 3. 家庭よりも仕事を優先させる雇用慣行や企業風土があるから | 18.6% |
| 4. 住宅事情が悪いから | 7.0% |
| 5. 子どもを取り巻く社会状況(少年非行、環境問題など)が悪い方向に向かっているから | 19.2% |
| 6. 核家族化などにより、親族や隣近所から子育てへの支援が受けにくくなっているから | 12.7% |
| 7. 子育ての負担が母親に集中しているから | 15.4% |
| 8. 子育てについて、楽しさよりも、大変さばかりが強調されているから | 14.4% |
| 9. 子どもを少なくして、じっくり育てたいという夫婦が増えているから | 14.2% |
| 10. 男女とも平均的に結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えているから | 40.4% |
| 11. 子どもより趣味やレジャーを楽しみたいという夫婦が増えているから | 21.0% |
| 12. その他(具体的に) | 1.7% |
| 13. わからない | 1.8% |
| 無回答 | 1.9% |

問12 あなたは、以前に比べて、平均的な結婚年齢が上がったり、結婚しない人が増えているのは、主にどのような理由からだと思いますか。(〇は3つまで)

(N=1563)

| | |
|--|-------|
| 1. 結婚相手に要求する条件が厳しくなったから | 25.7% |
| 2. 本人も周囲も、結婚（又は結婚適齢期）にこだわらなくなったから | 55.4% |
| 3. 見合いなど、親族による結婚の斡旋 ^{あつせん} が減ったから | 10.2% |
| 4. 独身生活のほうが自由が多いから | 59.0% |
| 5. 成人しても親離れ（又は親の子離れ）しない傾向が出てきたから | 20.5% |
| 6. 異性とつきあうことが苦手な若者が増えてきたから | 6.7% |
| 7. 男女とも仕事が忙しいから | 6.7% |
| 8. 経済力のある女性が増えたから | 50.5% |
| 9. 仕事をするためには、独身のほうが都合がよいから | 11.1% |
| 10. 結婚後、家事・育児の負担が女性に集中しているから | 17.3% |
| 11. その他（具体的に | 2.0% |
| 12. わからない | 1.2% |
| 無回答 | 2.1% |

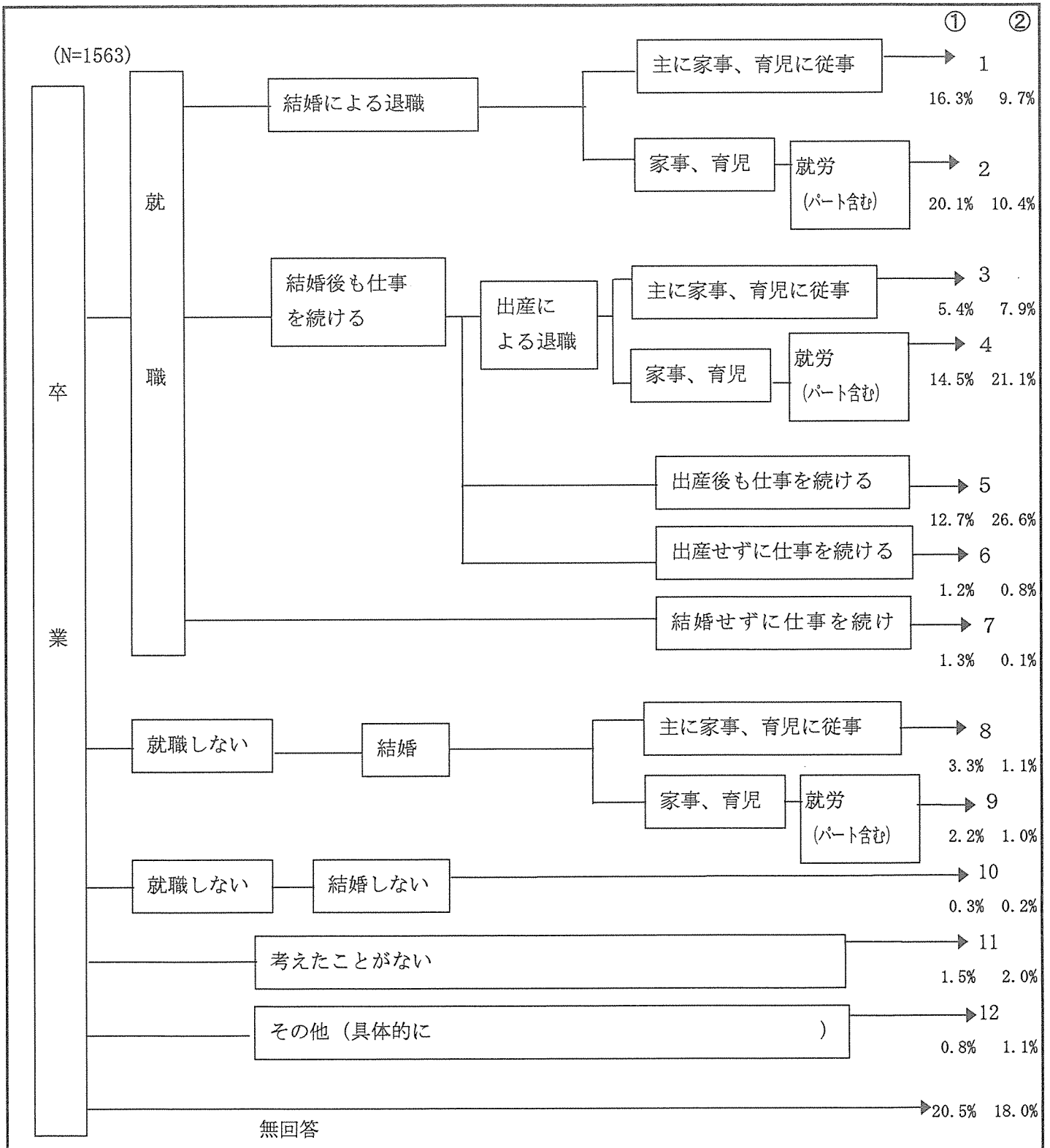
問13 あなたは、自分の子どもがどのように育てほしいと思いますか。①女の子の場合と②男の子の場合の両方についてお答えください。該当する子どものおられない方も、一般的な意見として両方にお答えください。(〇はそれぞれ3つまで)

(N=1563)

| ① 女の子の場合 | | ② 男の子の場合 | |
|--------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 思いやりのある人 | 81.8% | 1. 思いやりのある人 | 63.0% |
| 2. 素直な人 | 48.6% | 2. 素直な人 | 18.1% |
| 3. 責任感のある人 | 36.1% | 3. 責任感のある人 | 66.5% |
| 4. 社会的地位のある人 | 0.4% | 4. 社会的地位のある人 | 2.6% |
| 5. 身の回りのことは自分でできる人 | 21.9% | 5. 身の回りのことは自分でできる人 | 14.5% |
| 6. 家庭を大事にする人 | 40.8% | 6. 家庭を大事にする人 | 31.9% |
| 7. 自分の思ったことをやりとげる人 | 11.9% | 7. 自分の思ったことをやりとげる人 | 19.6% |
| 8. 社会に貢献する人 | 5.4% | 8. 社会に貢献する人 | 11.1% |
| 9. 判断力のある人 | 20.4% | 9. 判断力のある人 | 25.7% |
| 10. 経済力のある人 | 4.5% | 10. 経済力のある人 | 19.3% |
| 11. その他（具体的に | 1.3% | 11. その他（具体的に | 0.8% |
| 無回答 | 5.5% | 無回答 | 6.3% |

問 14 女性の生き方についての下の図にしたいが、①あなたが女性の場合はあなた自身、あなたが男性の場合はあなたの配偶者（おられない方は除く）の現在及び今後見込まれると思われる生き方、②あなたが最も望ましいと思われる女性の生き方の両方についてお答えください。回答はそれぞれ、下の図の右端の番号（1～12）から1つ選んでお答えください。

| | |
|---|--------------------------|
| ①（あなたが女性の場合は）あなた自身、（あなたが男性の場合は）あなたの配偶者の、現在及び今後見込まれると思われる生き方は？ | ②あなたが最も望ましいと思われる女性の生き方は？ |
| (番号) | (番号) |



問 15 あなたは、現在就労していますか。(パート・アルバイト・内職を含む。ただし、学生アルバイト、家事は除く)

(N=1563)

| | | | | |
|------------|--------------|-------|-----|------|
| 1. 就労している | → (問 16 へ) | 55.9% | 無回答 | 9.3% |
| 2. 就労していない | → (問 15-1 へ) | 34.7% | | |

問 15-1 【問 15 で「2. 就労していない」と回答された方のみにおたずねします】
あなたが、現在就労していないのは、主にどのような理由からですか。
(○はいくつでも)

(N=543)

| | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 家事・育児・介護に専念したいから | 14.2% |
| 2. 家事・育児・介護を自分がになわざるを得ないから | 14.9% |
| 3. 健康や体力の面で不安があるから | 15.1% |
| 4. 家族が自分が働くことを望まないから | 9.2% |
| 5. 不況のために仕事がないから | 7.4% |
| 6. 勤務場所や時間などの条件の合う仕事がないから | 12.7% |
| 7. 賃金・雇用形態などの条件の合う仕事がないから | 3.7% |
| 8. 就職を希望しても、年齢の制限があるから | 21.4% |
| 9. 就職を希望しても、実態として女性には機会が少ないから | 1.8% |
| 10. 今の企業社会では女性は働きにくいから | 0.9% |
| 11. ほかの家族の収入で十分だから | 8.5% |
| 12. 仕事以外の活動(ボランティアなど)をしているから | 6.3% |
| 13. 職業を持たないほうが自由に生きられるから | 5.3% |
| 14. やりがいのある仕事がないから | 4.2% |
| 15. 高齢だから | 38.3% |
| 16. その他(具体的に) | 13.3% |
| 17. 特に理由はない | 2.4% |
| 無回答 | 1.3% |

問 16 一般的に、男女がともに、仕事と家庭の両立をし続けるためには、どういう条件が特に必要だと思われますか。(○は3つまで)

(N=1563)

| | |
|---|-------|
| 1. 給与などに関する男女間格差をなくすこと | 16.4% |
| 2. 労働時間を短縮すること | 22.3% |
| 3. 育児休業・介護休業中の代替要員の確保など、気がねなく制度を利用できる職場環境をつくること | 52.6% |
| 4. 育児休業・介護休業を利用した者が、職場で不利な扱いを受けることのない体制をつくること | 30.8% |
| 5. 育児や介護のために退職した社員を元の会社で再雇用する制度を導入すること | 15.4% |
| 6. 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給付を充実すること | 14.3% |
| 7. 事業所内の保育施設を充実すること | 10.6% |
| 8. 地域の保育施設や、保育時間の延長など保育内容を充実すること | 20.5% |
| 9. 職業上必要な知識・技術など社員教育を充実すること | 2.3% |
| 10. パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること | 9.8% |
| 11. 在宅勤務やフレックスタイム制を導入すること | 9.8% |
| 12. 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること | 33.9% |
| 13. その他(具体的に) | 1.3% |
| 14. わからない | 2.0% |
| 無回答 | 10.8% |

問 17 あなたは、この1年間に健康診断を受けたことがありますか。(病氣のために受けた検査は除く)

(N=1563)

| | | | | |
|-----------|--------------|-------|-----|------|
| 1. 受けた | → (問 18 へ) | 62.8% | 無回答 | 4.6% |
| 2. 受けていない | → (問 17-1 へ) | 32.6% | | |

問 17-1 【問 17 で「2. 受けていない」と回答された方のみにおたずねします】

この1年間に健康診断を受けなかったのは、主にどのような理由からですか。

(○は2つまで)

(N=509)

| | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 健康で、必要を感じなかったから | 47.0% |
| 2. 家事や仕事が忙しく、時間がなかったから | 17.7% |
| 3. 子どもが小さく、手が離せなかったり、預けられる先がなかったから | 4.9% |
| 4. 身近に介護が必要な人がいるため、手が離せなかったから | 2.6% |
| 5. 費用がかかるから | 11.0% |
| 6. 前年受けたから | 6.9% |
| 7. 病氣が見つかる困るから | 3.9% |
| 8. 病氣治療中だったから | 13.2% |
| 9. どこで受けたらよいのかわからなかったから | 3.7% |
| 10. 近くに受診する医療機関がなかったから | 1.2% |
| 11. その他 (具体的に) | 3.7% |
| 12. 特に理由はない | 13.4% |
| 無回答 | 1.4% |

問 18 もしも、あなたが、介護が必要な状態になった場合、介護保険制度を利用しながらも、主にどなたに世話をしてもらいたいですか。(○は1つ)

(N=1563)

| | | | |
|---------|-------|----------------------|-------|
| 1. 夫 | 18.2% | 6. 娘の夫 | 0.0% |
| 2. 妻 | 29.0% | 7. 社会福祉施設やケア付き住宅への入居 | 18.4% |
| 3. 息子 | 1.2% | 8. 地域の人々やボランティア | 1.8% |
| 4. 娘 | 11.8% | 9. その他 (具体的に) | 1.5% |
| 5. 息子の妻 | 3.5% | 10. わからない | 10.4% |
| | | 無回答 | 4.4% |

問 19 あなたは、次のような言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。アからサのそれぞれについてお答えください。

| (N=1563) | はい | いいえ | 無回答 |
|-----------------------------|-------|-------|-------|
| ア 女子差別撤廃条約 | 37.9% | 49.3% | 12.7% |
| イ 男女共同参画社会基本法 | 26.0% | 60.0% | 14.0% |
| ウ 「なら女性プラン21」奈良県女性行動計画（第二期） | 13.6% | 71.2% | 15.2% |
| エ ジェンダー | 14.8% | 69.2% | 16.0% |
| オ 男女混合名簿 | 26.0% | 58.2% | 15.8% |
| カ 男女雇用機会均等法 | 83.6% | 8.1% | 8.3% |
| キ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ | 3.1% | 79.3% | 17.6% |
| ク 児童ポルノ買春禁止法 | 71.9% | 17.2% | 10.9% |
| ケ ストーカー行為規制法 | 83.5% | 7.2% | 9.3% |
| コ ポジティブ・アクション | 14.4% | 68.9% | 16.7% |
| サ 国連特別総会「女性2000年会議」 | 33.8% | 52.8% | 13.4% |

問 20 あなたは、女性の人権や男女共同参画などについて、学んだり知識を深めたりしたことがありますか。

(N=1563)

- | | | |
|-------|--------------|-------|
| 1. ある | → (問 20-1 へ) | 17.9% |
| 2. ない | → (問 21 へ) | 75.4% |
| 無回答 | | 6.8% |

問 20-1 【問 20 で「1. ある」と回答された方のみにおたずねします】
学習をされたのはどこですか。(〇はいくつでも)

(N=279)

- | | | | |
|---------------------|-------|--------------------------------------|-------|
| 1. 家庭 | 5.7% | 8. 民間のカルチャーセンター | 2.9% |
| 2. 小学校の授業 | 4.3% | 9. 職場での学習会 | 38.7% |
| 3. 中学校の授業 | 5.4% | 10. 自主的な学習グループ | 8.2% |
| 4. 高校の授業 | 8.6% | 11. メディア（テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等）を通じて | 52.7% |
| 5. 大学の講義 | 10.0% | 12. その他 | 4.7% |
| 6. 県や市等の女性センター主催の講座 | 20.4% | (具体的に) | |
| 7. 公民館等の主催の講座 | 19.0% | 無回答 | 1.1% |

問 21 男女共同参画社会を実現するため、今後、行政にどのようなことを望みますか。

次の中から主なものをお答えください。(〇はいくつでも)

(N=1563)

| | |
|---|-------|
| 1. 法律や制度の面での見直しを行う | 30.3% |
| 2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する | 35.4% |
| 3. 各種団体における女性のリーダーを養成する | 19.0% |
| 4. 職場における男女の均等な取扱いについて指導を強化する | 30.5% |
| 5. 女性の就労の機会を増やしたり、新しい分野への女性の進出を促進するための職業教育を充実する | 39.3% |
| 6. 保育、介護の施設・サービスを充実する | 44.8% |
| 7. 学校教育や生涯学習の場で男女平等についての学習を充実する | 25.3% |
| 8. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実する | 22.5% |
| 9. 男性の生き方に関する情報提供や啓発、企業内教育などを充実する | 10.4% |
| 10. 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する | 11.8% |
| 11. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力について啓発を行う | 14.1% |
| 12. その他(具体的に) | 1.9% |
| 13. 特にない | 2.9% |
| 14. わからない | 6.1% |
| 無回答 | 7.5% |

問 22 あなたの性別は。

(N=1563)

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----|------|
| 1. 男性 | 41.8% | 2. 女性 | 54.8% | 無回答 | 3.4% |
|-------|-------|-------|-------|-----|------|

問 23 あなたの年齢は。(9月1日現在の満年齢でお答えください)

(N=1563)

| | | | | | |
|-----------|------|-----------|-------|------------|-------|
| 1. 20~24歳 | 5.6% | 5. 40~44歳 | 7.1% | 9. 60~64歳 | 10.2% |
| 2. 25~29歳 | 7.2% | 6. 45~49歳 | 9.9% | 10. 65~69歳 | 7.4% |
| 3. 30~34歳 | 7.9% | 7. 50~54歳 | 12.2% | 11. 70歳以上 | 10.9% |
| 4. 35~39歳 | 7.2% | 8. 55~59歳 | 11.6% | 無回答 | 2.8% |

問 24 あなたのご家庭の世帯構成は次のうちどれですか。

(N=1563)

| | |
|------------------|-------|
| 1. 一人暮らし | 6.0% |
| 2. 一世代世帯(夫婦だけ) | 21.2% |
| 3. 二世代世帯(親と子ども) | 49.1% |
| 4. 三世代世帯(親と子と孫) | 18.5% |
| 5. その他の世帯(具体的に) | 2.2% |
| 無回答 | 3.1% |

問 25 あなたは、結婚（婚姻の届出のない事実婚を含む）しておられますか。

(N=1563)

1. 未婚 16.0% 2. 既婚（配偶者有り） 71.0% 3. 既婚（配偶者無し） 9.3%
 無回答 3.7%

問 26 現在の、①あなたの就業形態及び、配偶者のおられる方は②配偶者の就業形態の両方についてお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ）

| (N=1563) ①あなたの就業形態 | (N=1109) ② 配偶者の就業形態 |
|--------------------|---------------------|
| 1. 自営業主 8.5% | 1. 自営業主 10.1% |
| 2. 家族従業者 4.4% | 2. 家族従業者 5.9% |
| 3. フルタイマー 30.5% | 3. フルタイマー 29.3% |
| 4. パートタイマー 11.3% | 4. パートタイマー 9.1% |
| 5. 学生 2.6% | 5. 学生 0.5% |
| 6. 無職（家事専業） 23.7% | 6. 無職（家事専業） 27.1% |
| 7. 無職（家事専業以外） 7.8% | 7. 無職（家事専業以外） 7.0% |
| 8. その他（具体的に） 2.9% | 8. その他（具体的に） 2.3% |
| 無回答 8.3% | 無回答 8.6% |

問 27 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。（別居を含む）

(N=1563)

1. 1人 13.6% 2. 2人 44.0% 3. 3人 15.9% 4. 4人以上 1.8% 5. いない 21.0%

→（問 27-1へ）

→（問 28へ）

無回答 3.7%

問 27-1 【問 27 で「1」「2」「3」「4」と回答された方のみにおたずねします】

(N=1176)

一番下のお子さんは、9月1日現在、次のうちどれにあてはまりますか。

1. 3歳未満 6.8%
 2. 3歳以上就学前 6.5%
 3. 小学生 10.5%
 4. 中学生 5.0%
 5. 高校生 6.9%
 6. 大学生及び、専門・専修学校生 7.6%
 7. それ以上 55.2%
 無回答 1.6%

問 28 あなたのお住まいは、どの地域ですか。

(N=1563)

1. 県北地域（奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、生駒郡） 51.1%
 2. 県央地域（大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、香芝市、磯城郡、高市郡、北葛城郡） 35.6%
 3. 県東地域（添上郡、山辺郡、宇陀郡） 4.2%
 4. 県南地域（五條市、吉野郡） 6.7%
 無回答 2.5%

問 29 最後に、男性も女性もそれぞれの個性や能力が尊重される、真に豊かな男女共同参画社会を実現していく上で、県の施策等にご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上でおわりです。調査にご協力ありがとうございました。
ご記入後は、返信用封筒に入れて、9月30日（土）までにご返送ください。

平成12年度
男女共同参画についてのアンケート
報告書

平成13年2月発行

編集・発行

奈良県生活環境部女性政策課
〒630-8501 奈良市登大路町30
TEL 0742-22-1101 内線 3356
FAX 0742-24-5403
E-mail josei@pref.nara.jp

監 修

生活評論家 三輪昌子

◆この報告書は再生紙を利用しています◆

